

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	らいおんハート遊びリテーション児童デイ西川口		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 2日		～ 2026年 3月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児発：18名 / 放デイ：28名	(回答者数) 児発：8名 / 放デイ：8名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 23日		～ 2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	チームで活動を立案し、週ごとに感覚・言語・運動・微細(制作)に分け様々な活動を行っている。	活動の立案者を固定せず、全スタッフが利用者が楽しめる活動を考えている。	活動のマンネリ化を防ぐため、様々な視点から「楽しい」を見つけ利用者に向けた楽しめる活動を考えていく。
2	集団療育と個別療育を行っている	集団の中でも利用者の発達段階に応じて、活動内容の調整を行いみんなが楽しめる工夫をしている。利用者が『遊び』を通して楽しみながらできることを増やせるよう、あえて担当スタッフを固定せず色々な活動が楽しめる療育を行っている。	利用者の発達段階をしっかりと把握し、それぞれに合った支援の方法を都度アップデートしていく。
3	保護者との連携が密にとれている	面談などの話す機会を設けている。送迎時などのコミュニケーションを大事にしている。アプリを使用し、写真付きで活動の様子を伝えたとともに、苦手なことに対しどんな支援をしたらできるのかを共有している。必要に応じて電話での相談にも対応している。	面談の機会を増やすとともに、保護者が子どもの様子を見る機会も増やしていき実際の様子を見ながらアドバイスをしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外遊びの機会が少ない	安全に外出するための職員数が少ない。 車での外出が難しい(療育時間中の運転手の不在)	職員の増加、療育時間中の運転手の確保。 近隣の遊べる場所の安全確認
2	地域交流の機会や保護者交流の機会が少ない	地域との交流についての情報収集が不十分。 近隣の様々な施設や資源との交流が不十分。 療育と並行して行う際の場所の確保や職員の確保が難しい。	近隣の事業所との交流を深めていく。近隣の様々な施設や資源の確認・情報収集などを行っていく。地域の方を招いたイベントを開催したりしながら交流の機会を作っていく。他事業所などにも意見をうかがったり、保護者からの意見や希望を集め開催方法を検討していく。
3	保護者交流の機会の提供が不十分	療育と並行して行う際の場所の確保や職員の確保が難しい	他事業所などにも意見をうかがったり、保護者からの意見や希望を集め開催方法を検討していく